



同じ展示会のプレスリリースを姫路市立美術館からも発表しております。

News Release
報道関係各位

2024年9月10日
公益社団法人 姫路観光コンベンションビューロー

姫路の三大建築「姫路城・書寫山圓教寺・姫路市立美術館」を隈研吾が紐解く！

「隈研吾流オノマトペで見る建築 姫路編」を開催

9月21日（土）～11月17日（日）@姫路市立美術館

姫路市立美術館では、2024年9月21日（土）～11月17日（日）に、「隈研吾流オノマトペで見る建築 姫路編」を開催いたします。姫路市立美術館は、ひめじ全域が擁する地域文化をアートのかで市民ライフの糧として再発見するとともに、新たな姫路の魅力を国内外に発信するアートプロジェクト「オールひめじ・アーツ&ライフ・プロジェクト（<https://www.city.himeji.lg.jp/art/0000023985.html>）」を推進しており、今回の展示会は本プロジェクトの一環として開催されます。

今回の展示会では、隈研吾が姫路にある建築をオノマトペで表現。姫路城（国宝・世界文化遺産）＝ツツン、書寫山圓教寺（国指定重要文化財多数）＝バラバラ、姫路市立美術館（国登録有形文化財）＝コツコツと、隈研吾の独自の視点と感覚を通じて姫路の文化財建築の新たな魅力をお伝えします。

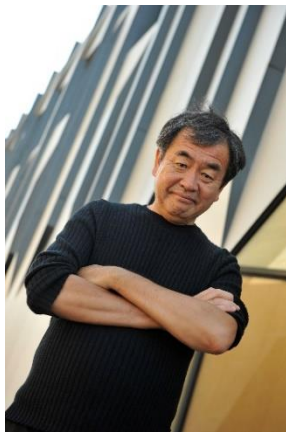
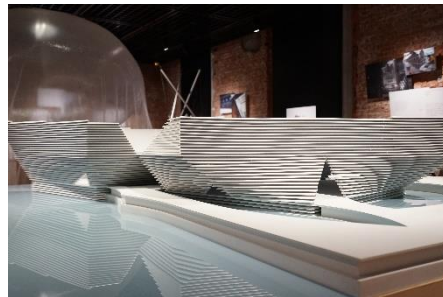


photo ©J.C.Carbonne



「ツツン」V&A Dundee
©隈研吾建築都市設計事務所



「バラバラ」アオーレ長岡
©隈研吾建築都市設計事務所

■開催概要

- 開催日 : 2024年9月21日（土）～11月17日（日）
休館日 : 月曜日（ただし9月23日、10月14日、11月4日は開館）、9月24日（火）
10月15日（火）、11月5日（火）
観覧料 : 一般1,400（1,200）円、高大800（600）円、小中400（200）円
※括弧内は団体料金（20名以上）
会場 : 姫路市立美術館 企画展示室
主催 : 姫路市立美術館 / 企画協力 隈研吾建築都市設計事務所
後援 : 朝日新聞姫路支局、神戸新聞社、産経新聞社神戸総局、サンテレビジョン、播磨時報社、播磨リビング新聞社、姫路ケーブルテレビ、姫路シティ FM21、毎日新聞姫路支局、読売新聞姫路支局、ラジオ関西（50音順）

詳細は、姫路市立美術館 HP <https://www.city.himeji.lg.jp/art/0000028298.html>

■ 展示作品

建築写真、建築模型、実際の素材等

■ 展示構成

第 1 章：姫路城ツツツ

第 2 章：書寫山圓教寺パラパラ

第 3 章：美術館コツコツ

※各章建築作品約 10 点を紹介



「コツコツ」北京 前門
©隈研吾建築都市設計事務所

■ 展示のみどころ

1 姫路城はつんつん！？オノマトペで表す姫路の文化財建築の魅力

世界的建築家・隈研吾が、姫路城（国宝・世界文化遺産）＝ツツツ、書寫山圓教寺（国指定重要文化財多数）＝パラパラ、姫路市立美術館（国登録有形文化財）＝コツコツと、各建築の特徴を「オノマトペ」で表現します。隈研吾独自の視点と感覚を通じて、姫路の文化財建築の新たな魅力を浮き彫りにします。

2 隈研吾の作品世界をもっと知ろう！

本展では、姫路城・書寫山圓教寺・姫路市立美術館のオノマトペから連想される隈研吾自身の建築作品も、多数紹介されます。隈研吾は、オノマトペを普段から、自身の事務所でのやり取りで頻繁に用いるといいます。感覚的な視点から建築作品を捉え直すことで、隈研吾が大切にしている建築哲学が、我々にもより身近に感じられるでしょう。

3 街と人がつながる！建築マップとガイドツアー

姫路市内の近現代建築を美術館学芸員が紹介するマップの作成や、ミュージアム建築を各館の学芸員とめぐるガイドツアーなどを実施します。姫路城の他にもたくさんある市内の隠れた名建築を発見し、散策しながら新たな視点で街を楽しめます。本展をご覧になったあとは、展示室を飛び出して、魅力あふれる姫路の街へと繰り出しましょう。

■ 関連イベント

1. ワークショップ「美術館に休憩所をつくろう！」

姫路市立美術館には「休憩所」がありません。本展の期間中、人々がゆっくり休めるような場所を、参加者皆で考えます。

日時 9月28日（土）13:30～16:30／場所 姫路市立美術館／講師 隈研吾建築都市設計事務所スタッフ／定員 15名程度（応募多数の場合は抽選）／申し込み締め切り 9月16日（月）

2. 講演会「アートから見る隈研吾」

金沢 21世紀美術館、第57回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館、あいちトリエンナーレ 2019のキュレーターなどを歴任した鷺田めるる氏が、アートの視点から隈研吾について語ります。

日時 9月29日（日）14:00～15:30／場所 姫路市立美術館 2階 講堂／講師 鷺田めるる氏（十和田市現代美術館館長）／定員 80名程度（応募多数の場合は抽選）／申し込み締め切り 9月16日（月）

3. オノマトペでめぐる建築 姫路城

「隈研吾流オノマトペで見る建築 姫路編」を鑑賞後、文化財建築の専門家による視点から姫路城の建築の魅力や特徴についてご案内します。

日時 10月19日(土)13:30~16:30/場所 姫路市立美術館 企画展示室、姫路城/講師 福田剛史(姫路市教育委員会事務局文化財課)/定員 15名程度(応募多数の場合は抽選)/申し込み締め切り 10月7日(月)

その他、**ミュージアム建築ツアー**(近代から現代にかけての名建築と言われる**姫路市立美術館、姫路文学館、兵庫県立歴史博物館**。その「推し」を各館の職員が語ります。)や、**文化財を支える現場を見るツアー - 瓦の工場見学-**(本展を鑑賞後、日本伝統のいぶし瓦を守り続ける窯元で、姫路城の修復に用いられる瓦の製造も手掛けた光洋製瓦株式会社の工房を見学します。)なども開催いたします。**最新情報は姫路市立美術館展覧会ページをご確認ください。**

■ お得な交通割引情報

① 山陽電車「姫路市立美術館きっぷ」

姫路市内各駅からの往復きっぷと入館券引換券がセットで1,500円と大変お得な切符を発売します。詳細はホームページで!



② 神姫バス「しろのまちめぐり 2DAY きっぷ」

姫路城、美術館、書寫山圓教寺をお得にめぐるセット券です。詳細はホームページで!



同時開催

圓教寺×隈研吾 生き延びるためのデザインワーク-これからの用の美

書寫山圓教寺・三之堂前広場にて、隈研吾作のパビリオン《くぎくも》が展示されています。

会期 2024年6月16日(日)~12月1日(日)

姫路市立美術館: <https://www.city.himeji.lg.jp/art/0000023687.html>

書寫山圓教寺HP: http://www.shosha.or.jp/press.cgi?press_id=240611_1718072431

【姫路市立美術館について】 <https://www.city.himeji.lg.jp/art/>

姫路市立美術館は、白鷺にたとえられる世界文化遺産姫路城の素晴らしい景観の中にあります。この赤レンガ造りの建物は、戦前は陸軍の施設として、戦後は姫路市役所として長く使われ、1983年4月に美術館として開館しました。庭園には13体の彫刻が設置され、市民の憩いの場として親しまれています。



美術館の周辺観光情報は、ひめのみち (<https://www.himeji-kanko.jp/>) をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ】

姫路市立美術館 TEL: 079-222-2288

姫路観光コンベンションビューロー TEL: 079-287-3655/ Mali: hime-kanko@himeji-kanko.jp